

## 令和8年1月・2月 発達子どもアカデミー 第28回職員研修

はこでみ職員研修28を行いました。

今回は、「薬について」をテーマに講義とグループワークを行いました。  
発達障がいを持つ子どもたちへの支援を行う中で、「薬」に関することに触れ合う機会は多いものです。  
実際に我々が支援を行う子どもたちの中にも「薬」を服用している子どもは少なくありません。

代表的な薬として

・コンサータ ・ストラテラ ・インチュニブ ・ビバンセ

・エビリファイ ・リスパダール

など

子どもそれぞれの特性や状態に合わせて様々な種類の薬が処方されています。

「薬の名前は聞いたことあるけど、どんな効果があるのか知らない。」

「子どもに薬を服用させる事に不安や恐怖を感じる。」

「一度服用したら、ずっと服用し続けたいいけないのかな？」

「薬を飲めば問題行動は落ち着くの！」

実はこれら全て支援者の言葉です。

その位、薬について支援者であっても知らないという事です。

日頃から発達障がいを持つ子どもたちへの支援を行い、薬の服用についても比較的身近に接しているにも関わらず、薬について詳しく知る機会はほとんどありません。

そのため、上記のように「薬」について過度に偏見を持ったり期待したりする状況が生まれてしまいます。

そこで、今回の研修では、「薬の種類」「薬の効果」「薬との付き合い方」などをグループワークを通して学んでいきました。

「薬」については、お医者さんや薬剤師さんの指示を守り、正しい知識を身に付け、間違った意見や情報を子どもや保護者に伝えないようにする事が重要だと職員間で共有しました。

